

事業所名		放課後等デイサービス エルピゾ 旗の台								支援プログラム				作成日		2026	年	2	月	12	日
法人（事業所）理念		光ある明日を見すえる																			
支援方針		障がいの有無に関わらず、大事な成長の機会を将来の自立の糧とし支援します。また地域イベントや課外活動などを通して、思い出や記憶に残るものを提供します。そして粗大運動と微細運動の両側面を鑑み集団と小集団、場合によっては個別療育など課題や特性に配慮した、ひとりひとりにしっかり寄り添った支援の実現を目標としています。																			
営業時間		平日	13	時	00	分から	18	時	00	分まで	休日	10	時	00	分から	15	時	30	分まで		
サービス提供時間		平日	13	時	00	分から	18	時	00	分まで	休日	10	時	00	分から	15	時	30	分まで		
送迎		なし																			
		支 援 内 容																			
本人支援	健康・生活	日常生活動作および手段的日常生活動作の獲得、将来の進学や就労を考慮し身だしなみの整え方、交通機関などによる危機認知スキルの向上（実例や絵本を使用したSST）感覚の特性への対応や特性に応じた対応方法を導入します。																			
	運動・感覚	美術における画材などの道具の使い方などを支援します。また粗大運動では座位の姿勢保持やストレッチ、専門職員による基本や応用動作能力の向上を促します。多種多様な自重での筋力トレーニングを主とし、サーキットトレーニングを行います。																			
	認知・行動	集団での活動や異年齢間交流のなかで、適切な行動や発信を習得し定着を図ります。見通しを予め伝え、タイマーを使用したスケジュール把握や時間認知発達を促す環境設定を行います。																			
	言語 コミュニケーション	元気な挨拶、TP0に則した丁寧な言葉遣い、相互作用によるコミュニケーション能力の獲得を目指します。 なお絵本や教科書を使用した読み書きに対する支援と同様に自己紹介やスピーチなどコミュニケーション能力や手段の活用、興味を刺激します。 スピーチでは「質問」と「発表」の違いについても実例を通して学びへ繋がめます。																			
	人間関係 社会性	集団や異年齢間交流、日本伝統文化に準えたむかし遊びや課外活動などレクリエーションを通して自己理解や他者理解を深め「思いやり」の気持ちを育みます。																			
家族支援		・連絡帳での発達状況や支援ニーズの確認 ・様々な不安や困りごとに寄り添い、相談や助言を行います									移行支援		・利用相談支援事業所との連携 ・学校など関係機関との情報共有								
地域支援・地域連携		・進学や就労を見すえ都度情報連携、相談援助 ・身辺自立を目指し、生活スキルの向上について助言を行います									職員の質の向上		・年間での研修、ディスカッション ・職員の各種勉強会、行政主催の研修への参加								
主な行事等		近隣商店街のイベントに参加し、装飾を担当することにより社会との繋がりや社会性の向上を目指します。 またそのほかに夏休みなど長期休暇には外部講師による四季を感じるようなワークショップや体力向上となるレクリエーションの開催を行います。																			